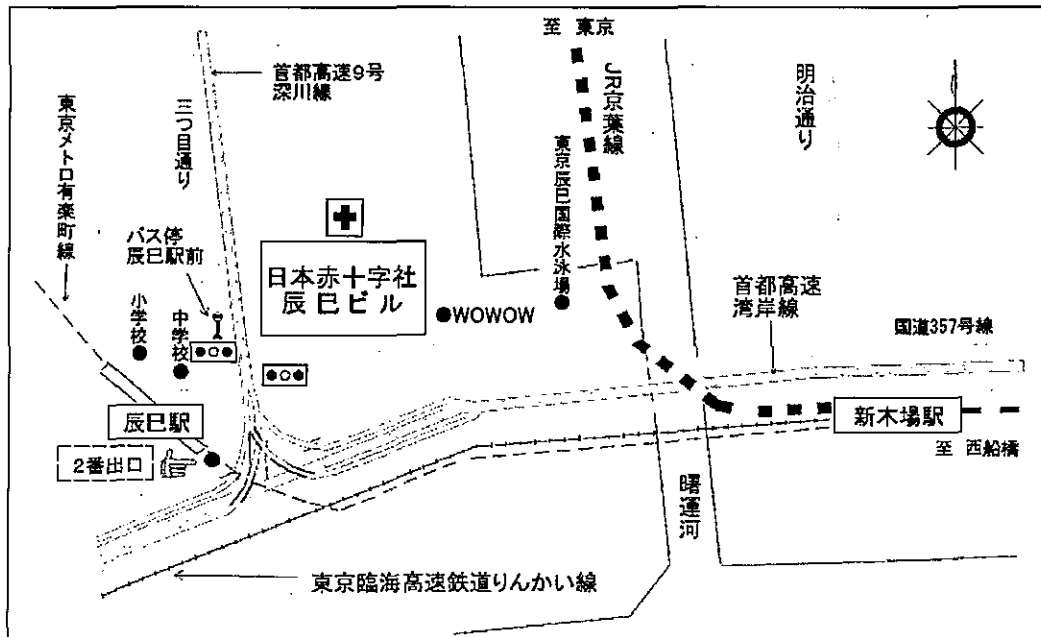


日本赤十字社辰巳ビル 概要

血液事業本部制の導入、中央血液研究所の設置を踏まえ、より合理的な組織運営を行うため、都内に分散している血液事業本部の分室を集約することとし、あわせて、中央研究所、東京都赤十字血液センターを含めた現在の事業規模及び将来の事業集約が可能な立地、適当な面積などを含め、最適な場所として「辰巳」を選択したものです。

建物名称	日本赤十字社辰巳ビル
住所	東京都江東区辰巳二丁目1番67号
敷地面積	11,706.6 m ²
建築面積	3,802.27 m ²
延床面積	17,876.13 m ²
主体構造	鉄筋コンクリート造（免震構造）地上6階
建物高さ	29.97m
工事期間	着工 平成17年6月24日 竣工 平成18年3月31日

設計監理	株式会社現代建築研究所
施工	株式会社大林組
地盤改良工事施工	不動建設株式会社



東京メトロ有楽町線「辰巳駅」2番出口から徒歩5～6分

建物案内（略式立面図）



建物の特徴

地盤改良工事

敷地は昭和 41 年に竣工した埋立地であることから、液状化対策としての地盤改良工事を行いました。建物直下から地下 12m までの間に 1.5m 間隔で 2,217 本の砂杭を打設して地盤を締め固めました。使用した砂（碎石を含む）の量は、約 8000 立方メートル、10t ダンプで約 1300 台分です。

免震装置

建物の基礎となる部分に、積層ゴムによる免震装置と「直動転がり支承型免震装置」を設置し、地震による揺れを震度換算で 2 段階程度軽減できる構造としました。（例：震度 5 の地震⇒震度 3 程度の揺れ）

PC 工法（プレキャストコンクリート工法）

着工から竣工まで短期間であったため、柱、梁、外壁などをあらかじめ工場で製作し、現場で組み立てるといった工法により建築しました。

停電対策として 2 ヶ所の変電所からの電気供給を可能とし、1 ヶ所の変電所が事故等により送電不能となっても他の変電所からバックアップできるように配慮しました。

2 階以上の各階床を二重化し、将来起こりうる改修工事が他階に与える影響を最小限に留められるように配慮しました。

衛生上の観点から、外部窓を開放できない構造とし、虫の侵入を防ぐとともに、窓面の結露を防ぐため 2 重ガラスとしました。



辰巳ビル前景



エントランス



研修室



血液保管庫



検査室



製剤作業室



駐車場



免震装置